

人間と絶滅

大竹陽生

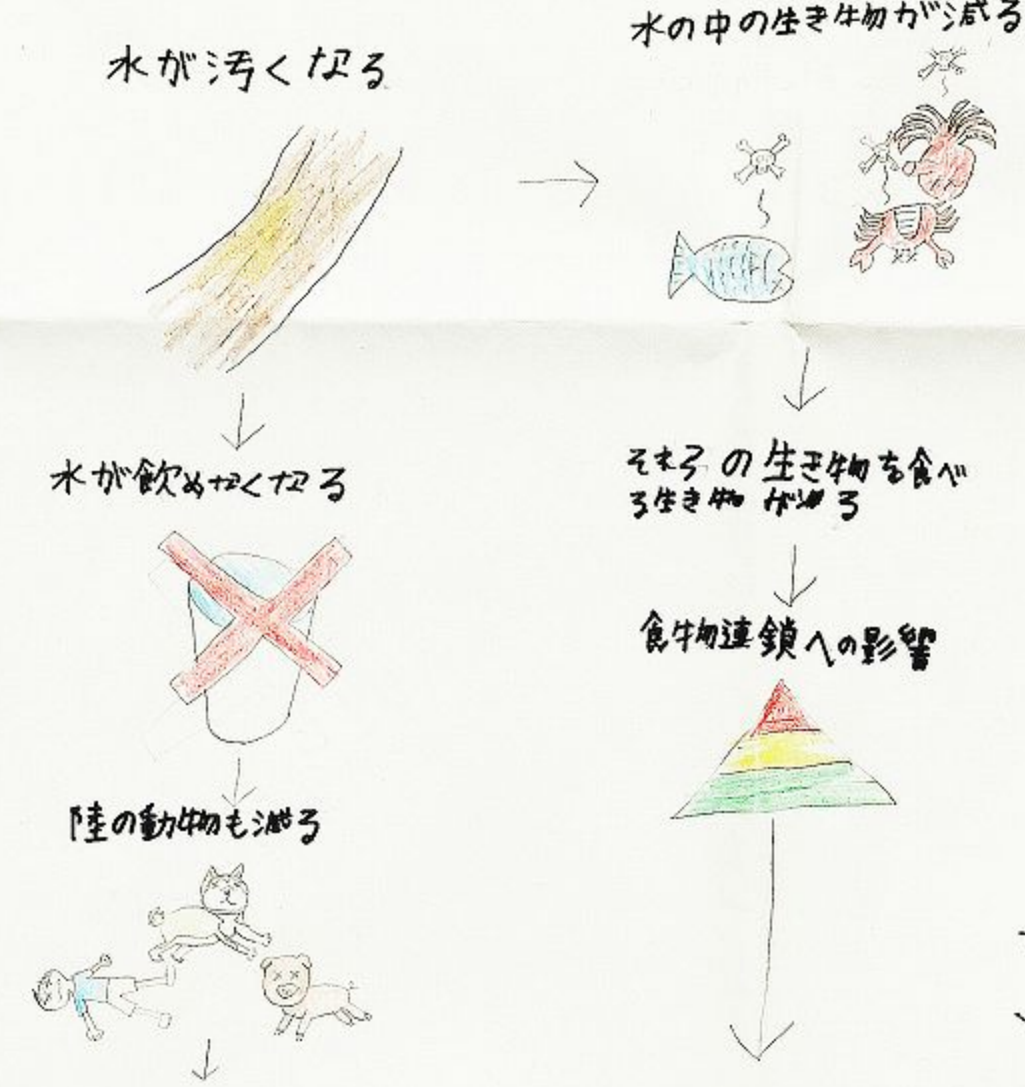
言周へた理由

もともと動物の生態に興味がありましたが、「わけあって絶滅しました。」という本に出会い、自分の知らない、もう見ることも叶わない動物がたくさんいることに驚きました。また、その理由に人間が関わっているものも多いことから、今、絶滅の危機に追い込まれている動物を守るために何が出来るのかを調べ、それを多くの人に知ってもらいたいと思いました。

参考「わけあって絶滅しました。(ダイヤモンド社)」
監修・今泉 忠明 著・丸山 貴史



なぜ絶滅させてはいけないのか
もし虫がいたらどうなるか



つまり、生き物が絶滅すると、生態系への悪影響がでる可能性があるため、生き物を絶滅させてはいけないということです。

もし、自分が絶滅させられる側になったら、どう思いますか？

地球滅亡!?

絶滅した種と原因

ニホンオオカミ

狂犬病などの家畜伝染病と人為的な駆除、開墾による餌資源の減少や生息地の分断などの要因が複合したものであると考えられている。

ニホンカワウソ

明治時代に毛皮目当ての乱獲によりその数を大幅に減少。さらに河川開発による生活環境の悪化、水質汚染などの原因により絶滅。現在は1979年に記録された以降、確切な情報が無いため絶滅したと考えられている。

オオウラギンヒョウモン

それまでの学術形態が変化し、麓地が行ってきた草原の刈り取りを行わなくなり本種の生息環境である草原の多くがススキ草原に変わったためと考えられている。

ニホンオオカミ



ニホンカワウソ



オオウラギンヒョウモン



絶滅危機種と減少の理由

トノサマガエル

水田や畦の減少、農薬の散布などにより著しく減少している。その他にも、トノサマガエルの産卵場所である水田が農業従事者の減少により、全国的に減ってきていることが、原因となっている。

オコジョ

毛皮目的の乱獲や、毛皮目的で輸入したミンクの一部が野生化したことによる生息環境の変化が原因とされている。さらに、森林伐採で生息場所がなくなることも原因の一つである。

ゼニタナゴ

農村地域の空地開発の進行に伴う水質汚濁やオオクチバスによる捕食、タイリクバラタナゴとの競合などで外来種の影響を受け減少。その他にも観賞魚として違法捕獲も原因となっている。



自分たちにできること

1. ペットや外来種を自然の天敵に放さない
2. 木や川などにゴミを捨てない
3. 絶滅のおそれのある生き物をつかまえて飼ったりしない
4. 環境を考えた製品を購入する。
5. 絶滅しようとする動物について知る

環境を壊すのも守るのも人間です